

地域ふるさとづくり

「志津の歴史」と「自然の美しさ」発信事業

シリーズ5



青地町「神明宮」 創祀年代不詳であるが、(元禄3年) 神明社を再建され、当時の神主は井口和泉守とあり、また、明治初年の県への届けには、500年以前創立とある。

【創祀】 年代不詳

やまとひめのみこと

【祭神】 大倭姫命 [後の天照皇大神]

浸水時の緊急時避難協力施設と 協定を締結！

10月31日(金)、市役所において、帝産湖南交通株式会社と、志津まちづくり協議会・山寺町町内会および草津市は、「浸水時における緊急時協力施設としての一時使用に関する協定書」を締結しました。集中豪雨や台風に伴う浸水の発生による避難場所の確保については、引き続き各町内会・自治会との協働による推進が急務であります。



「敬老のつどい」 各町内会・自治会で開催！

志津学区では、9月12日から20日にわたって各町内会・自治会で「敬老のつどい」を開催しました。この町内会ブロック開催も今年度で3年目となり、各地域で定着しつつあります。

各町内会・自治会の式典やアトラクションなど趣向を凝らした催しに会場全体が和やかな楽しい雰囲気となり、「ふれあいと親睦」の成果が得られているとの声も聞かれるようになりました。参加者も志津小の一会場の時と比べると約3倍の参加率となり、70歳から79歳までの参加者は293人、80歳以上の参加者も243人となっています。



市長とまちづくりトーク

11月25日(火)に志津市民センターにおいて、市長と志津学区のまちづくりについて意見交換を行う「市長とまちづくりトーク」を開催しました。

志津まち協の役員25名が出席し、「国道1号草津川トンネル撤去後の両側敷地活用」と「国道1号交差点のインターチェンジ方式の整備促進」について、市長との活発な意見交換を行いました。また、今までに要望している「山手幹線の整備促進と交通対策」「草津川上流部の平地河川化」「クリーンセンターの建て替えに伴う運動公園の整備」について、市からの説明を受けました。



「理事会」を開催

第2回

9月19日(金) 19:30 ~

【協議内容】

1. 市長とまちづくりトークについて
 - ・市長との意見交換内容について協議
2. 第62回「志津ふれあい区民運動会」について
 - ・区民運動会の詳細説明
 - ・競技役員の委嘱
3. 備品貸出管理規定について
 - ・管理規定の制定について承認を得る。

【報告事項】

1. まちづくり協議会「認定証」の交付について
2. 浸水時における緊急時避難協力施設としての一時使用に関する協定締結について
3. 先進地視察交流研修について

第3回

11月7日(金) 19:00 ~

【協議内容】

1. 平成26年度「志津ふれあい広場」について
 - ・ふれあい広場の詳細を企画委員会より説明
 - ・運営役員の委嘱
2. 志津地域自主防災研修会について
 - ・1月24日(土)の開催、内容について承認を得る。

【報告事項】

1. 浸水時における緊急時避難協力施設としての一時使用に関する協定締結について
 - ・帝産湖南交通(株)、志津まち協・山寺町、草津市による調印
2. 「敬老のつどい」実績報告について

教育・文化部事業

志津わんぱく協働各校

竹でご飯が炊けたよ！

9月27日(土)、ロクハ公園キャンプ場において「ディキャンプに行こう！」を開催しました。「こんなものでご飯が炊けるの？」をテーマに、小学4年生から6年生までの23人が飯ごう、空き缶、竹、バケツ、フライパンの5班に分かれ、みんなで協力して火をおこし、薪でご飯を炊きました。

子どもスタッフが決めた5つの用具を利用しての炊飯。どれもおいしそうに炊きあがり、それぞれのご飯を食べ比べました。

最後に、牛乳パックを利用してホットドッグを作り、おいしくいただきました。



ツイストパン作りに挑戦！

今年初めて11月16日開催の「志津ふれあい広場」において、志津わんぱく協働各校の子どもスタッフと企画委員が、「ツイストパン作り体験」コーナーを出店しました。

事前に練習した子どもスタッフは、竹に手作りのパン生地を巻き方を参加者に教えるという一翼を担っていました。また、参加した子どもたちは、炭火でこんがり焼けたツイストパンをおいしそうに試食していました。準備した150食は大好評で、またたく間に店じまいとなりました。



第62回「志津ふれあい区民運動会」を実施！！

秋晴れのもと、10月19日(日)に志津小学校運動場において、「志津ふれあい区民運動会」を開催しました。

今年度は、第62回目を迎え、市制60周年よりも古い歴史のある大会となりました。競技には、子どもから大人までの参加があり、運動不足の解消と地域の人たちとのコミュニケーションを図る場となる有意義な一日となりました。



↑玉入れ



←入場行進



←開会式



→綱引き



→二人三脚



平成26年度「志津ふれあい広場」開催！！



↑JA女性部銭太鼓

11月16日(日)、志津小学校において、「ふるさと志津 大きなわをつくろう」をテーマに、「志津ふれあい広場」を開催。昨年度よりも多くの方に参加いただきました。ステージ発表では、初出場組が多くイベントに花を添えてもらいました。その他、模擬店、バザー、体験コーナー、大抽選会など、多彩な催しを通じて、「大きなふれあいのわ」が広がり、地域の皆さんの笑顔があふれていました。



↑さくら坂保育園児の太鼓ばやし



↑コールソーレ／紫苑



↑開会式

→大抽選会の景品



→志津小児童によるけん玉に



↑会場の風景



↑志津小ふれあいバンド(志津小教員)



↑高穂中学吹奏楽部



わが町の活動状況



山寺大空の紹介

山寺大空町内会は、20歳代から40歳代の世帯が住む比較的若い町内会です。

平成23年から、山寺大空の新規分譲が始まり、現在約70世帯が居住しています。当町内会の公園には、子ども達が元気に仲良く遊んでいる姿を見かける等、憩いの環境が整っています。また、5月11日には、山寺十徳公園において、毎年恒例となったバーベキュー大会を実施しました。参加した子どもや大人は、美味しい食事を食べながら会話を弾ませる等、非常に楽しい一時を過ごすとともに、より一層、当町内会の親睦を深めることが出来ました。

今後は、志津学区内の一員として、地域振興の役割を担っていきたいと思います。

(山寺大空町内会長：大石 浩之)



青地第一の紹介

温故知新

青地第一町内会は近年、住宅開発も盛んで、人口増加傾向です。その中で、従来からの田園地域、風情がだんだん忘れ去られてきています。志津村の庁舎跡、城池、桜、蛭、蛭、そして今も続いている左義長や地蔵盆。これらは地域にとって先輩方々から引き継がれた、重要な行事や歴史です。私たちは、これらの伝統を大切に引き継いでいきたいと思います。また、新しい出来事として、オリンピック選手をはじめ、陸上、バレー、体操など、全日本クラスのアスリートたちが生まれています。文化面においても、様々なサークルが活発です。

これまでの伝統に加え、新しい若者の力こそ、青地第一町内会の宝です。町民みんなで歴史の上に新しい息を吹き込み「住んで良かった、楽しいまち、青地第一を」目指しています。



(青地第一町内会長：宇野 敬造)



追分町の紹介

安全・安心住み良い追分町を目指して！！

追分町内会では、昨年度、町内会の二分化、隣組の再編成を実施しました。

こうした中で、会員同士の絆を大切に、安全で安心して暮らせる「住み良いまち」を目指して、防災・防犯活動や、スポーツ・文化を通じた交流事業に取り組んでいます。

特に、安全・安心の取り組みとして、防災面では、大地震を想定した一次集合訓練や災害図上訓練、消火訓練などを実施し、また防犯面では、草津市のLED防犯灯給付事業を活用して、町内の防犯灯をLED化するとともに、地域見守り推進の強化として、追分南町内会と合わせて7箇所に防犯カメラを設置しました。

今後は、交通安全対策として町内のゾーン30運動を推進していこうと検討を進めています。

(追分町町内会長：竹村 勇)



ふれあいサロン(郊外研修)を実施！

志津社会福祉協議会 地域・ボランティア部会

高齢者と身体障害者更生会との交流ふれあいサロン(郊外研修)を実施しました。総勢42人で10月22日(水)に福祉バスを利用して、日野町にある「近江日野商人館」を見学。館内の豊富な展示や館長さん他の楽しい説明で、日野商人の足跡の凄さを実感しながら、みなさんが再訪の希望を洩らされていました。

愛東マーガレットステーションのコスモス畑や、昼食をとった湖東三山西明寺前のレストランでは、豆腐料理を楽しむ、心配された天候の問題もなく有意義な交流研修となりました。



(民生・児童委員：藤森 康郎)

消防ポンプ自動車を披露！

草津市消防団第二分団

20年ぶりに第二分団の消防ポンプ自動車が更新配備されたことに伴い、10月26日(日)青地第二町会議所において披露式を行いました。

今回の消防車は、3トン級消防専用車が採用され、火災現場におけるホースの出し入れが早く容易に行えるシャッターボックスが設けられています。また、心臓部に当たるポンプは、2つの真空ポンプの採用などで、消火能力が数段に向上した優れものです。

第二分団では、今後の緊急時の消火活動においては有効に活用していきます。

(団長：片岡 義博)

